

(公財)日本体操協会
令和元年度第1回定時評議員会議事録

1. 日時 令和元年6月29日(土) 13時00分～
2. 場所 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 3F 会議室1

3.出席者 <評議員>

出席

大島斎礼、加藤澤男、瀧澤康二、柳善二郎、林直樹、
長澤稔子、長谷川輝紀、鷹西美佳、崇島慎一、慶野峰晴、
大橋英記、山岸弘宜、藤田正敏、渡邊一郎、渡邊榮一、
望月克己、森令子、白石伸三、知念義雄 19名

欠席

小篠弘子、早田卓次、竹谷 一 3名

<理事・監事>

出席

二木英徳会長、塚原光男副会長、具志堅幸司副会長、石崎朔子副会長、
山本宜史専務理事、遠藤幸一常務理事、竹田幸夫監事 7名

<関係者> 渡邊榮事務局長、守永事務局員

4.資料の確認

審議事項

- 第1号議案 平成30年度事業報告および決算報告
第2号議案 次期役員選任について

報告事項

- 第1号 次期顧問選任について
第2号 その他

5.権限審査

定款第5章第24条に基づき本評議員会は評議員22名中、出席評議員19名のため、
評議員会開催の定足数(過半数)に達していることを渡邊事務局長報告。

6.議長選出

定款第4章第16条の定めにより、評議委員会議長は、評議員の中から選出すると定められており、瀧澤康二評議員が、全会一致で議長に選出された。

7.議事録署名人

定款第5章第26条に基づき、議長の瀧澤康二並びに長谷川輝紀及び林直樹評議員の3名を指名し、異議なく承認された。

8.審議事項

第1号議案 平成30年度事業報告及び決算報告について

議長の指名により、渡邊事務局長は資料の説明を行った。

まず、平成30年度事業報告。

定款第4条（事業）をベースに公益目的事業および収益事業につき具体的な説明を行った。

公益目的事業

1. 国際貢献事業

FIG、AGU、海外合宿受入、コーチ、審判派遣等の説明

2. 競技力向上・選手派遣事業

アジア競技、ユースオリンピック派遣、世界選手権派遣、強化本部指定大会派遣、国内合宿、日中合同合宿の説明

3. 講習会・指導者養成・資格認定・検定事業

審判育成、コーチ育成、国際資格、公認審判員、選手登録、機械器具検定の説明

4. 競技会等開催事業

全日本大会、地域関係、国体、体操スクール等の説明

5. 顕彰事業

協会三賞の説明

公益目的事業比率は93.1%となった。(50%以上が公益の最低条件)

収益事業

1. マーケティング事業

(株)創造資材がトランポリンのスポンサーについての説明

2. 出版物販売事業

特に変更なし。

次に決算報告書の説明に先立ち、竹田幸夫監事より、監査報告書が

読み上げられた。

公認会計士の監査報告、監事の報告、監査手続きに従い、監査を行ったこと。監査結果は法令に準じていること。不正等認められなかったこと。計算書類等適正に表示されていることが報告された。

決算報告は、決算概要資料に則り、要点を説明した。

1. 正味財産増減計算書

予算収支 137,471 千円に対し、実績 104,661 千円となった。(76.1%)

	予算	決算	前年度	(単位：千円)
経常収益	1,401,550	1,376,528	1,482,925	
経常費用	1,264,079	1,242,568	1,274,766	
経常増減	137,471	133,960	208,229	
経常外費用	0	29,299	0	第三者委員会関係費用
当期増減	137,471	104,661	208,229	

・経常収益・経常費用の主要科目増減等について説明。

パワハラ問題の費用は経常外費用に計上した。

・平成 30 年度トピックス

① JOC 補助金の変動に対して

補助金と協会との負担割合が増えている。

② 事業費・雑役務費の規模拡大化

スポーツ振興基金、TOTO、高崎財団など助成金受領

2. 貸借対照表

総資産 692,573 千円で前年度比 31,083 千円減少。

期末正味財産 587,405 千円で、前年度比 104,661 千円増加。

正味財産比率前年度 66.7%から 84.8%で 18%アップ。

・主要科目の内容につき説明。

トランポリンで特定準備資金に 1 億円計上。

・過去の経営数値等の説明。

財務基盤を拡大し、健全化したい。

以上の報告を受け、議長は質問・意見の有無を議場に諮った。

大島評議員 感想だけ述べる。第三者委員会経費 3 千万は登録料 6 千万の半分となっている。倫理規定には裁判の場合敗訴側が負担と記載。3 千万の負担は何か煮え切らない。ムダ金にならないよう協会を改善してほしい。

補助金との負担割合が増えている状況は注視している。フェンシングは自分でスポンサーを見つけ活動している。今の選手は負担を当然と思っているのではないか。オリンピック後の収入反動を考慮し、事業を検討してほしい。

崇島評議員 補助金との負担割合の件では、収入を増やすことを考えるべき。事業を減らすなどネガティブは悪循環となる。JOC 頼みは消極的。

議長は、第 1 号議案の承認採決を議場に諮り、全員異議なく承認。
第 1 号議案は原案どおり、承認・可決された。

第 2 号議案 2019-2020 年度（令和元年—令和 2 年度）役員選任について

山本専務理事は、「役員選考委員会」12月23日、1月10日、3月23日、5月19日、5月30日の5回開催し候補者を選考した。

役員選考委員は、二木会長、具志堅・石崎副会長、山本専務理事、遠藤常務理事、瀧澤評議員、竹田監事の7名。

まず、基本方針として、昨年第三者委員会の提言を受けて、当協会委員会の提言事項検討委員会の答申、スポーツ団体ガバナンスコード案等を参考に、役員選考委員会で検討し、新役員候補者を選出した。

また、業務執行効率化と透明性を図るため、委員会活動（業務執行者）と役員（理事）との役割分担による体制を取り入れた。理事の役割を明確にし、理事会の活性化を図るため、女性、若手の運営業務への参加を促進する体制に移行する。

現職役員のうち、定年規定にかかる役員が1名、二木会長。

二木会長については、定年規定第2条（会長の任期）における「特別の事情による任期延長」の対象とし、留任と決定。スポーツ界独特の派閥に属さず、公正かつ適正な協会運営を継続され、現在の「体操ニッポン」にはなくてはならないリーダーシップを持たれており、「余人をもって代えがたし」。

山本専務理事は以上の説明を行なった。

議長は、質問・意見の有無を議場に諮った。

特に意見はなく、議長は以下、理事候補者を個別に議場に諮った。

二木 英徳 氏
異議なく、承認。

具志堅 幸司 氏
異議なく、承認。

竹内 輝明 氏
異議なく、承認。

長谷川 洋子 氏
異議なく、承認。

荒木 達雄 氏
異議なく、承認。

山本 宜史 氏
異議なく、承認。

遠藤 幸一 氏
異議なく、承認。

水鳥 寿思 氏
異議なく、承認。

田中 光 氏

崇島評議員 村上選手の救済措置の流れなど混乱を招いている。素質なしとし
異議を申しあげる。

具志堅副会長 選考委員として意見。田中本部長はルールを守っており、推薦し
た。

崇島評議員 理事会の決定は尊重している。田中本部長の素質の問題。

具志堅副会長 田中本部長は整理しており、素質はある。

大島評議員 他に本部長候補はいなかったか。

具志堅副会長 引継ぎの流れを尊重し、田中本部長とした。

柳評議員 強化本部長は所属の問題等あり、責任がある。田中本部長については
大きな反対はない。

瀧澤議長は多数決を挙手でとることとした。

賛成 11名。賛成多数で承認。

山崎 浩子 氏

異議なく、承認。

竹村 英明 氏

異議なく、承認。

後藤 洋一 氏

長澤評議員 女子審判本部長指名に意見あり。推薦基準を知りたい。女子審判は問題が多発している。

具志堅副会長 女子審判本部長は理事会案件、理事会にて諮る。

以上の意見の後、他に異議なく、承認。

米田 功 氏

異議なく、承認。

岩瀬 史子 氏

異議なく、承認。

加納 実 氏

異議なく、承認。

萩原 智子 氏

異議なく、承認。

加藤 裕之 氏

異議なく、承認。

川人 亜矢子 氏

異議なく、承認。

田中 理恵 氏

異議なく、承認。

田坂 利明 氏
異議なく、承認。

村木 啓造 氏
異議なく、承認。

次に監事候補者を個別に、議場に諮った。

高橋 史安 氏
異議なく、承認。

竹田 幸夫 氏
異議なく、承認。

以上の通り、第2号議案は、原案どおり、承認され、全員が選任された。

第3号議案 その他

大島評議員 役員の定年について。役員等規定の方には定年が書いていない。はっきりしないと後日の問題となるのでは。

山本専務理事 小竹さんは70歳を超えているが、地域をまとめる重要な人物なので地域委員長を務めてもらっている。

大島評議員 小竹さんのような定年を超えて協会の仕事を願う場合は特別顧問という名称で取り扱っていた。検討が必要なのではないか。以前に定年で問題があったため、特別顧問で対応した過去がある。

9.報告事項

第1号報告 次期顧問選任について

- ・6月8日の理事会において、下記のメンバーが顧問に選任された。

顧問候補者には、専務理事経験者以上とした。

退任2名：ご逝去のため、(吉田夏氏、丸山伊三保氏)

新任2名；塚原光男氏、石崎朔子氏（定年により、役員退任）

継続	松田治廣	平岡英信	河合敏男	池田敬子
	千葉敬伍	田中武彦	秋間健男	笹田茂和
	八島 正	笠松 茂	梶山広司	五日市亨児

岡村輝一	大島齋礼	早田卓次	柳 善二郎
加藤澤男	関田史保子	瀧澤康二	竹田幸夫
塩野尚文	長谷川輝紀	小竹英雄	渡辺守成

以上 26名

第2号報告 その他

柳評議員 具志堅副会長は体操全般の対応をお願いすることとなる。細かい意見など聞き、対応してもらいたい。強化についてどのように考えているか聞きたい。強化本部長任せか、副会長以上などで考えているか。

具志堅副会長 現状は所属で強化を行っている。協会がリーダーシップをとるには強化本部に託し、その強化策に対し、理事が意見、議論をする関係となっている。

柳評議員 応援しているので、是非本部長を盛り上げ隆盛を期待。日本人の多くはテレビでオリンピックの体操を見るしかない。テレビ解説者を育ててほしい。

崇島評議員 強化と審判部や指導部との連携はどうなのか。

具志堅副会長 意思の疎通を図っていききたい。

崇島評議員 審判が国際の傾向をキャッチする仕組みづくりが必要ではないか。

山本専務理事 国際委員会を一新し活性化を活性化を図る。

塚原副会長 2001年から協会を戦略的に改革してきた。現在オリンピックに向け、危機感が足りない。皆さんにそのことをお伝えしたい。

山岸評議員 エアロビック連盟の理事を行ってきたが、任期満了でやめることとなった。後任は田中という女性を後任としたい。御礼申し上げる。

議長は、すべての議案の終了を確認し、14時38分閉会を宣言した。

令和元年6月29日

議長 瀧澤 康二

議事録署名人 長谷川輝紀

議事録署名人 林 直樹

